

- 5 新型コロナワクチン接種については、接種体制の課題を早期に解決し、すべての市民が安心して接種できる体制を整えること。
- 6 外国人にも分かりやすい情報の伝達と発信策を確立すること。
- 7 ポストコロナ社会を見据え、魅力あるまちとなるために、DX（デジタルトランスフォーメーション）による新たな価値が具現化されたスマートシティの創設に向けて取り組むこと。

ポストコロナを見据えた新たな生き方に合わせた移住定住策

- 1 「掛川市移住・定住促進計画」を策定し、スピード感をもって全庁体制で取り組むこと。
- 2 全市的な機運醸成を図り、受入体制を整備すること。
- 3 更なる官民連携を推進し、効果的な施策を展開すること。

人生100年時代構想を踏まえた地域包括ケアシステムについて

- 1 ふくしあが「まちの保健室」のような位置づけであること、誰もが気軽に立ち寄ることができ、赤ちゃんからお年寄りのことまで、なんでも相談できる施設であることを庁内で共有し、市民に対しても周知徹底すること。
- 2 ふくしあの相談機能強化と関係機関との連携強化のため、人材育成を行い幅広い知識を持った職員及び専門職の配置を検討すること。
- 3 人生100年時代を迎え、各個人だけでなく地域住民の心身の健康維持を自分事として捉える機運の醸成を図る施策を構築すること。
- 4 在宅ケアを進めていく上で、緩和ケア、在宅看取り、ケアラー支援、訪問診療・訪問看護などの在宅医療の課題を明らかにして、対処すること。
- 5 初期段階での介護予防やリハビリの充実により、重度化を防ぐ地域医療体制を構築すること。
- 6 健康を自ら維持し、最期まで自分らしく生きるために、市民に対してエンディングノートを生設計ノートとして、今以上に周知活用していくこと。

市内の経済状況を踏まえて

- 1 中小企業振興会議などとおして、最新の状況把握に努めるとともに、国の事業再構築補助金制度をはじめ、現在の補助金制度や交付金制度、給付金制度の対象外となる事業者などへの支援を検討すること。
- 2 市内企業に対し、企業内で感染者が発生した際、市の備蓄する抗原検査キットの活用も含めた「対応指針（マニュアル）」を示すこと。
- 3 緑茶カテキンが免疫力を高めることの重要性が再認識されている。静岡県立大学の研究による緑茶のコロナウイルスへの効能に関して発表後すみやかに、県とともに積極的な情報発信に努めること。
- 4 本市において、ビジネス客がもたらす経済効果は大きい。ビジネス客を回復させる施策を検討すること。
- 5 前回のプレミアム付商品券事業の検証を行い、事業者の資金繰り及び換金方法などの制度設計に関して今後生かすこと。
- 6 大東温泉シートピアの民間譲渡後については、地元企業や農業者が関われるよう協力体制を整えること。
- 7 外国人技能実習生の受け入れをしている企業に対して、外国人実習生への教育プログラム等を母国語で行えるよう支援をすること。
- 8 国、県の補助金や給付金の電子申請について、相談窓口を設けるなど支援体制の充実を図ること。